

所蔵資料紹介（特定歴史公文書等）

東京大学「紛争日誌 その3」(1)

井上 いぶき・秋山 淳子

「紛争日誌 その3」について

第37～39号からの継続として、東京大学による大学紛争の経過記録「紛争日誌」について、今号では「その3」の前半部分、1968（昭和43）年11月の翻刻を掲載する（≪「紛争日誌」資料群≫の概要については第37号を参照）。

11月1日には大河内一男総長が辞任、紛争の起点となった医学部からは豊川行平前学部長と上田英雄前病院長の退官が報告され、4日には加藤一郎総長事務取扱（通称：総長代行）が誕生し、各学部長も一新する。しかしその直後に、文学部では林健太郎学部長の監禁事件が発生、セクト間の対立も激化し、12日の総合図書館前衝突では多くの負傷者がでるなど構内での暴力が常態化していく。そして22日には、日本大学はじめ多数の他大学学生が合流し、「民青系」・「反民青系」あわせて1万人以上が東大構内に集結、牽制し合いながら大規模集会をひらき（全共闘系は「日大・東大闘争勝利全国総決起集会」と呼称）、東大が全国の学生運動の焦点となった。こうしたなか、加藤総長代行は「共斗会議派」と「統一代表団準備会」双方との大衆団交を実現させるべく、予備折衝をかさね、精力的に学内を動き回るが、29日の「提案集会」では思うように大学側の見解を伝えることはできず、流会を宣言する結果となる。このように、11月はまさに激動の一月であり、「紛争日誌」ではそうした事態の進行を淡々と、かつ詳細に記録している。

なお、翻刻に際しての注意点や凡例については第37号に記載されているので、あわせて参照されたい。翻刻作業は当館職員（井上いぶき・秋山淳子）の分担によるものである。

「紛争日誌 その3」(1) (1968（昭和43）年11月1日～11月30日)

11月1日（金）	7:00	大講堂前に下記立看板が掲出されている。 { 11.1 全学総決起集会 6時 1日 安田講堂 工学部封鎖から全学バリケードへ エスト実行委、全学共斗会議
	7:15- 8:20	学部長会議開催（銀杏荘）
	8:20-13:30	評議会開催（銀杏荘） 大河内総長辞任を申し出、了承された。また前医学部長豊川行平教授、前病院長上田英雄教授の退官について小林医学部長から報告があり、承認された。

11:00	医学部本館講堂に東洋大生約 80 人が集合し、集会を開いている模様。
13:30-13:40	協議会開催（銀杏荘） 大河内総長の辞任申し出を承認した。
13:40-14:00	評議会再催（銀杏荘）
14:00	教養学部構内に下記立看板が掲出されている旨同学部から連絡があった。 { 11.2 東大斗争勝利全学総決起集会 2時 駒場 本日（注1日）医学部につづく全学バリケード封鎖の突破口として工学部事務、研究室封鎖斗争に共斗会議、工大学院、工スト実行委と共に決起せよ。 東大 C 行動委
18:10	工学部職組約 70 人が工学部 8 号館（都市工学・機械工学・産業機械工学の 4 学科所在）前に集合し、工学部列品館および同 8 号館の封鎖を阻止する旨の決議を行なう。
18:30	医学部本館講堂内において東洋大生約 270 人が集会を開いている模様。
18:40-19:10	海洋研において総長記者会見を行ない引き続き辻法学部長、藤井理理学部長が記者会見を行なう。
18:40	大講堂前に共斗会議派学生約 50 人が集合し、その後同講堂に入る。同講堂内においては総決起集会が開かれている模様。
19:30	工学部 8 号館前に教官、学生、大学院生、工学部職組約 300 人が集結し、封鎖阻止のピケを張る。
20:00	共斗会議派学生約 160 人がヘルメット覆面姿で大講堂から出て工学部 8 号館に向い、封鎖反対派の教職員、学生ともみあいながら約 100 人が同館に侵入した。
20:11	共斗会議派学生約 20 人が応援に駆けつけた。
20:20	同館に侵入した共斗会議派学生は同館玄関内にロッカー等でバリケードを築き封鎖した。 また同館玄関前では共斗会議派学生と封鎖反対派が論争を行なう。
20:32	さらに共斗会議派学生約 20 人が応援に駆けつけた。
20:45	同館内いた教職員は非常口から退去した。
21:00	山上会議所において再審査委の三ヶ月委員長、隅谷委員、中村委員が記者会見を行なう。
22:00	工学部列品館（工学部事務部・物理工学科所在）に共斗会議派学生約 160 人（殆んど赤、白、青、黄のヘルメット着用）が押しかけ約 100 人が同館に侵入、残り約 60 人は工学部ボイラー室付近から廃棄処分の書類戸棚等運び出し、列品館各出入口にバリケードを築く。
22:10	同館前に教官、工学部職組が集まり、共斗会議派学生と論争する。
22:40	共斗会議派学生同館を完全に封鎖した。
23:17	同館から学生約 70 人が出て大講堂前までデモし、その後工学部 8 号館に入る。

		(その他) 同夜大河内総長の「学生諸君へ」と題する文書を学内各所に掲示した。
11月2日(土)	15:00	工学部8号館前に教官、職員、学生等約300人が押しかけ、同館入口でピケを張る封鎖派学生に対し、封鎖派学生に対し、封鎖を解けと激しく抗議し、その後数グループに分かれ論争を行なったが、午後5時30分頃解散した。
11月3日(日)	22:30	共斗会議派の経済学部大学院生約40~50人が同学部6・7階の教授研究室および3階の学部長室、会議室、応接室に通ずる廊下等に机等でバリケードを築き封鎖し、またエレベーターの運転を停止した。
11月4日(月)	0:15	経済学部から教授研究室の封鎖に参加した大学院生31人が出て学内デモを行ない同学部前—工学部8号館—大講堂前—アケードのコースで行進、同学部前に戻り午前零時30分解散した。
	10:00-16:30	学部長会議開催(銀杏荘) 法、医、工、文、理、農、経、薬の8学部は学部長の交替が決定したため、新学部長内定者が出席した。また養、育の2学部からは学部長代理者が出席し、法学部長内定者加藤一郎教授を互選により総長事務取扱とすることを決めた。
	10:00	東洋大生が大講堂付近に逐次集合午前11時頃には約150人(内女子約80人)となり、約60人がデモを行なった後午前11時10分大講堂に入る。
	11:15	東洋大生約80人が正門から入構、医学部本館に集結し、その後斗争勝利、学園奪還を叫びデモし大講堂に入る。
	13:10	大講堂から東洋大生約400人が出て隊列を組み、午後1時15分正門から出構し東洋大に向う。
	14:00	東洋大生約400人が同大から追われ、農学部正門から逃げ込み、農学部3号館前で集会後、午後2時20分デモして大講堂に向い、同2時30分大講堂に入る。
	14:30	銀杏並木アケード付近で文学部第2委員会追及集会が開かれ、文学部教官4人(井上光貞、前野直彬、藤堂明保、登張正実)に対して、文学部スト実行委の学生約80人が①大衆団交要求②学部長、評議員の改選について追及を行なっている。
	15:00	工学部8号館前に同館封鎖に反対する教官、学生院生、職員等約60人に集まり、封鎖派学生と論争する。
	15:00	法学部第1演習室において緑会の学生約120人が、辻法学部長追及集会を開き、同学部長に対し、法学部執行部は自己批判を行った後辞任せよと迫る。
	16:05	文学部第2委員会追及集会は一応中断、学生側は封鎖中の文学部2番教室において学部集会を開くよう教官側に要求し、教官の帰宅を阻止している。

17:00	<p>文学部2番教室において同学部集会が開かれることになり、第2委員会追及集会に出席した教官4人と学生約200人との間で話し合いが始められたが、学生側の鋭い追求によってつるしあげ状態となった。同学部教官に午後8時頃までに続々とかけつけ、文学部長に内定した林健太郎教授も午後9時頃加って教官側は40人が参加した。</p> <p>学生側は「執行部の交替は首のスゲ替えにすぎない。また教授会が新執行部を選ぶときは文学部スト実行委に事前に連絡するという約束を破った」と激しく教授会の自己批判を求めたうえ、文学部学生(仲野)の処分白紙撤回等を要求した。これに対し林教授は「教授会で決ったことは変えられない」と説明話し合いは平行線をたどり夜を徹して行われた。</p>
17:50	<p>大講堂から東洋大生約250人が出て、右翼粉砕を叫び医学部本館までデモし1部は同館に入り他は解散した。</p>
18:00	<p>大講堂から東洋大生約50人(白ヘルメット着用)が出て附近をデモし、正門から赤門に向い、午後6時15分同門を出構、本郷3丁目方面に向う。</p>
18:00	<p>法学部長追求集会は辻学部長にドクター・ストップがかかり、同学部長は退出した。このあと学生は討論集会を行ない午後7時頃解散した。</p>
18:20-18:50	<p>海洋研において総長事務取扱に内定した加藤教授および新学部長内定者が記者会見を行なった。</p>
19:00	<p>新学部長内定者連名の「学生諸君へ」と題する紛争解決への呼びかけを学内各所に掲示した。</p>

11月5日(火)	8:40	<p>文学部2番教室において同学部集会が続行されていたが、前野直彬教授が疲労のため倒れ、担架で病院上田内科に運ばれ入院した。その後他の教官も疲労を訴え教室から出て保健センターで手当をうける等して帰宅する者が続出した。</p>
	10:40	<p>上記集会は休憩に入り、午後5時から再開することとなり、フトンが運び込まれた。</p> <p>なお、午後3時頃までに教官数人が教室から退出した。</p>
	12:30	<p>工学部8号館から機械工学系大学院生約50人が出て付近をデモし、同館に戻り解散した。</p>
	13:00-14:05	<p>山上会議所において全学共闘会議派学生が記者会見を行ない、加藤総長事務取扱以下の新執行部批判、大衆団交以外の全学集会は粉砕する等を表明した。</p>
	13:25	<p>工学部応用化学科学生約60人、工学部5号館から出て学内をデモ 正門一大講堂一医学部中央館一医学部本館一工学部5号館のコースで行進、午後1時50分解散した。</p>
	16:00	<p>法学部22番教室で法スト実行委約50人が集会し激論を交す。</p>
	16:30	<p>教養学部において学生代議員大会が開かれ497人が参加した。</p>
	18:20	<p>文学部2番教室において教官側20人、学生側約250人(他学部学生を含む)が参加して同学部集会が再開された。</p>
	18:30	<p>教養学部の学生代議員大会は革マル系の大須賀を議長に選出し、討論に入り、その後参加者は約800人となる。</p>

22:00	文学部アゲード南側で朝日新聞写真部員が梯子車を使い同学部2番教室内を撮影したため学生10数人に取り囲まれ、追及をうけたがフィルムを引き渡して解決した。
22:00頃	関野雄教授が疲労のため倒れ退出した。
	(その他) 大河内総長の辞任・加藤一郎教授の総長事務取扱、8学部長(法、医、工、文、理 農、経、薬)の交替、および以上8学部の評議員(法は1人が留任)の交替がそれぞれ発令された。

11月6日(水)	0:05	文学部の学部集会は休憩に入り、正午から再開することとなった。そのため教官数人が教室から退出した。
	7:45	前日から続行されていた教養学部学生代議員大会は各派の提案をいずれも否決の後、今村・高木(フロント)大須賀(革マル)野村(反帝学評)洞田(学生会議)の5者共同の緊急提案(①7項目要求②無期限スト③共斗会議との共斗④8.10告示反対⑤全学バリケード等)を賛成390 反対375 保留7で可決終了した。その後この提案に反対した民青系学生と反民青系学生との間でこぜり合いが発生した。
	10:20	研究所長会議開催(物性研)
	12:45	工学部機械系大学院生48人が工学部8号館封鎖反対を叫び、プラカードを掲げ同館前から静かにデモし、工学部列品館一総合図書館一大講堂前一工学部2号館のコースで行進し、工学部8号館前に戻り、午後1時15分解散した。
	13:28	研究所長会議終了
	14:30	文学部2番教室において教官側10人、学生側約250人が参加して同学部集会が再開された。冒頭林文学部長は「我々は疲労しているので話し合いは2時間に限り行わないたい」と述べたが、学生側は無期限交渉を主張した。交渉は仲野の処分白紙撤回をめぐる議論は堂々めぐりを繰り返した。
	16:30	林文学部長ら教官側が「時間だ」として退席しようとしたが学生側は阻止した。このとき林文学部長を誘導しようとした成瀬治助教授は学生側から激しく詰問され、午後5時頃倒れ医師(青医連と思われる)の診断をうけ退出した。その後林文学部長は「話し合いの余地はなくなった」と発言、以後教官側は「黙否」を続けたが、学生はこれに怒号をあげた。
	18:30	教官側の健康をきづかい、保健センターの医師が教室に入ったが、直接の診療はできなかった。
	19:30	学生側はようやくつるしあげをやめ、7日午後3時から集会を再開することを条件に休憩に入ることを認めた。一方文学部対策委の教授助教授は「文スト実行委の諸君は教官の不法監禁をとくように」との訴えを学内各所に掲示した。

	21:00-22:00	山上会議所において高橋徹、辻村明の両助教授が記者会見を行ない、状況説明を行なった。
	23:15-23:50	文学部スト実行委の学生4人も同所において記者会見を行ない「人命にかかわるということは事実無根、青医連の医師を待機させている」と述べ、記者団を教官側が閉じこめられている教授談話室へ案内した。
11月7日(木)	10:00	大講堂前に下記立看板が出されている。 { 11.12 全学集会粉碎、7項目要求貫徹 東大斗争勝利、全学総決起集会
	13:00	本日、法学部総決起集会が予定されていたが、法学部教授会が開催されないため、取り止めとなった。このことに関し、法学部緑会と法斗争委の間で意見が分かれ、銀杏並木アケード付近で双方の学生約100人が激しく論争し、時々つかみ合い等を行なったが午後7時頃緑会の大山委員長が自己批判書に署名させられ、ようやく収まった。
	14:00	薬学部において同学部学生大会が開かれ、学生約120人が参加した。大会では4年生有志から無期限スト終結案が提案されたが、賛成10、反対84、保留7、棄権1で否決され無期限ストを続行することになり、午後9時30分終了した。
	14:15	4日から文学部集会に出席し、監禁状態におかれていた岩崎武雄評議員は青医連の菱沼医師の診断をうけ、尿に蛋白が多量に検出されたため、学生から退出を認められ、保健センターで手当をうけ午後3時30分頃帰宅した。
	16:00頃	同様の状態におかれていた林文学部長、堀米庸三評議員が青医連医師の診断をうけた。堀米評議員は心電図に異常が認められたため退出、午後8時すぎ病院吉利内科に入院した。
	16:30	文学部集会再開、教官側7人(林文学部長、青木雄造教授、斎藤忍随、山本信、青井和夫、田中正俊、浜川祥枝各助教授)学生側250人が参加した。 なお、保健センターの渋谷医師が法文2号館に入り、青医連の医師とともに待機していた。
	21:00	理学部教授懇談会が同夜開かれ、林文学部長等の不法監禁されていることに抗議の声明を発表した。
	22:00	文学部集会中の青木教授が退出した。
	22:00	同集会休憩に入り、8日午後2時から再開することとなった。
	23:00頃	文学部の教官を代表して赤塚忠教授が法文2号館に入り、学生に林文学部長らの解放を申し入れた。
		(その他) 文学部2番教室の集会に参加していた斎藤忍随、青井和夫、田井【「田中」を誤記】正俊、浜川祥枝の4助教授は疲労のため翌朝までに逐次法文2号館から退出した。

11月8日(金)	11:00	病院精神神経科医師連合(52人で組織)の代表石川清講師ら3人が前夜の同連合総会で決議した”医学部全教授・助教授の辞職要求”を台弘病院長を訪れ申し入れた。
	15:00	教養学部900番教室において同学部集会が開かれ、教官約40人、学生約1,000人が参加した。学生側は8・10告示撤回、7項目要求承認等を激しく主張した。これに対し野上教養学部長は「8・10告示は教授会として廃止すべき見解に達した。機動隊は駒場構内には入れない」と回答したが、学生側はあくまで要求を全面的に認めるよう迫った。野上学部長これを拒否し、集会は物分れで午後8時30分頃終了した。その後反民青系学生約150人(本郷の学部学生、日大生等他大学生を含む)はヘルメット姿で午後9時30分頃、教職員会館および学生部教官室を封鎖した。
	15:00	加藤総長事務取扱、物性研で記者会見を行ない、林文学部長らの救出に全力をあげる旨を表明する。
	15:30	総長事務取扱の「全学の学生諸君に訴える」として文学部長らに対する監禁事件解決に協力を望む旨の掲示を学内各所に貼り出す。
	15:55	全学の教官が林文学部らの不法監禁について文学部スト実行委の学生に抗議のため総合図書館付近に集まり始める。
	16:00	文学部集会再開、林文学部長、山本信助教授が学生側と話し合いを行なう。その後、保健センター医師が法文2号館に入ることを交渉したが、学生側に拒否された。
	16:15	全学の教官約300人は文学部2番教室前の路上に移り、まず青井和夫助教授がマイクを使い、文学部教官の抗議文を読みあげた後、尾高邦雄教授を先頭に一齐に「人命を尊重しろ」「林学部長をかえせ」「大学は暴力にくっしないぞ」等シュプレヒコールを行ない激しく抗議を繰り返した。また一般学生も多数これに加わって抗議を行なった。 これに対して文学部2番教室内の学生は窓から教官に応しゅうした。午後4時45分尾高教授が最後の通告である旨を述べ、解散したが、なお多数の教官がその後も抗議を続け、文学部2番教室から出てきて不当処分撤回を主張する文学部等の学生と各所で論争を行なった。
	16:30	学部長懇談会開催(物性研)
	18:20	文学部集会2時間休憩を行なうことになった。
	21:00	学外で開催されていた学生委員会へ民青系学生約30人が押しかけ「共斗会議派学生と大学側が大衆団交について話し合いを行なった」と激しく抗議した。そこで教育学部ロビーに移り話し合いを行なう。
	21:10	以上の話し合いに加わった学生は約200人となる。
	22:00	林文学部長夫人の招いた同愛記念病院の医師2人が法文2号館に入ることを学生側と交渉したが拒否された。
	22:20	経済学部の共斗会議派大学院生約40人学内デモを行ない、文学部2番教室前の路上で文学部処分白紙撤回のシュプレヒコールを行なう。
23:10	文学部集会中断(再開時期不明)	

	23:20	文学部スト実行委の革マル系学生約 60 人が法文 2 号館から出て学生デモを行なう。
11 月 9 日 (土)	0:10	教育学部ロビーにおける学生委員会と民青系学生との話し合いは終了。
	2:00 頃	林文学部長の主治医同愛記念病院医師 2 人が法文 2 号館に入り、林文学部長を診断させるよう要求したが、文スト実行委の学生はこれを拒否した。 この結果堀米庸三評議員から林文学部長らの「不法監禁をとくよう」申し入れ、これが認められない限り、大学側は学生側との話し合いには一切応じない、さらに同学部長救出のため機動隊の出動を要請する用意のある旨を伝えた。
	2:30	前日から開催されていた学部長懇談会終了 (物性研)
	3:00	文スト実行委の学生は記者会見し「大学側が機動隊を入れれば、これに対決して最後まで戦う」という態度を明かにした。また学生は大講堂前、法文 2 号館前でピラ等を焼却し、さらに約 100 人がヘルメット姿で大講堂広場でデモを行なう。
	3:40	文スト実行委の学生 7～8 人が竜岡門の大扉を閉鎖し、機動隊に備えて明けがたまで警戒する。
	10:00	学部長会議開催 (物性研)
	13:00	文スト実行委の学生に保健センター医師が林文学部長の診断を申し入れたが、学生側は青医連医師が診断しその結果を午後 3 時までに通知すると回答した。
	13:30	農学部 2 号館 1 番教室において同学部集会が開かれ、教官約 70 人学生約 250 人が参加した。
	14:00	工学部大講堂において同学部集会が開かれた。参加者は教官 160 人、学生約 1,300 人となり、会場に収容できず 21 番教室、廊下、玄関前にも参加者があふれた。 向坊工学部長らは新執行部の所信表明とこの集会は正式の学部団交の下準備のものであると述べた。学生側は紛争中の処分問題等で回答を要求したが話し合いは平行線をたどった。
	14:30	学部長会議中断
	15:00	青医連医師が林文学部長の診断結果を保健センターに連絡してきた。 (脈 75～80、ノドに発赤があり、尿に糖が出ている)
	15:30	加藤総長事務取扱の「学生諸君へ」との全学集会についての呼びかけを学内各所に掲示した。
	15:30	大講堂前広場において” 11・9 文学部無期限団交貫徹・機動隊導入阻止全学総決起集会” が開かれ共斗会議派の学生約 80 人が集合した。
	16:30	上記集会終了、学内デモを行なう。
16:30	大講堂前に戻り、反帝学評系学生 12 が加わり再度集会を開く。	
17:00	学部長会議再開 (物性研)	

17:15	上記集会を終了、共斗会議派の学生約60人が学内デモを行ない、竜岡門にきて「11日早朝まで門を学生が自由管理する。理由は機動隊導入に備えるためである」と述べ守衛所を占拠、警備掛員を追い出し、学生20人で固める。さらに学生は2隊に分れ、正門、赤門に向い、それぞれ守衛所を占拠し、赤門は大門、脇門を、正門は大門を閉鎖する。 その後学生は各門共に学生6人位を見張りに残し、引きあげた。
18:00	工学部集会終了。逐次解散し、午後6時50分頃全員解散した。
19:00	学部長会議終了(物性研)
19:10	農学部集会終了
20:10 ~21:25	弘報委員川田侃(経)教授が山上会議所において記者会見を行ない、林文学部長の健康状態等を発表した。
21:40	共斗会議派学生約20人が竜岡門にきて大門を閉鎖した。
21:00	上記学生が弥生門にきて守衛所を占拠し、脇門を閉鎖した。
	(その他) 本日文学部集会は再開されなかった。

11月10日(日)	6:00	正門、赤門、竜岡門、弥生門の守衛所を占拠、各門を自主管理していた共斗会議派の学生は「今夜10時にまたくる」と言い残し引きあげた。
	8:30	評議会開催(天文台)
	14:10	評議会終了(天文台)
	15:00	学部長会議開催(天文台)
	15:00	文学部付近で加藤文学部学友会委員長が記者にかこまれ下記を語った。 「大学当局に11月8日に大衆団交を12日午後2時から開催するよう最後通告を行なっている。これが拒否または回答がなされない場合は12日午後に全学総決起集会を開き、全学バリケード封鎖を行なう。そのさい林文学部長を解放する。全学バリケード後は7項目の要求を総べて大学側が飲まなければ話し合いには応じない。」
	19:40	文学部2番教室において文学部集会が再開され、林文学部長、山本信助教授が学生と話し合いを行なう。
	20:00	学部長会議終了
	21:00頃	林文学部長の友人三島由紀夫、阿川弘之両氏が訪れ、同学部長に面会を申し入れたが、学生に拒否され約40分後引きあげた。またこのころ文学部集会場下の広場に文学部、教養学部の一般学生約20人がプラカードを掲げ坐り込み、「林先生を即時釈放せよ」とシュプレヒコールを行なう。
	21:40	文学部集会休憩に入る

	21:50	文スト実行委の学生約 60 人が文学部 2 番教室から出てスクラムを組み、団交貫徹を叫びながら一般学生の坐り込みに突入し、暴行を加えるなどして追いちらした。文スト実行委の学生はその後学内デモを行なう。
	22:00	文スト実行委の学生は竜岡門の大門、赤門、正門、弥生門の脇門を閉鎖し、再び各門守衛所を占拠し、見張りの学生数人を残して引きあげた。
		(その他) 1. 大学当局は、共斗会議派学生に午後 7 時すぎ、民青系学生に対して午後 8 時すぎ全学集会開催のための予備折衝を行ないたいと申し入れた。 2. 教養学部教授会は、新学部長に田村二郎教授を、評議員に平井敬次、高木佐知夫の両教授を選出した。
11 月 11 日(月)	6:00	正門、赤門、竜岡門および弥生門の守衛所を占拠し、各門の自主管理を行っていた共斗会議派の学生は引きあげた。
	13:30	大講堂に下記立看板が掲出された。 「本日午後 3 時からの全学教官集会を教官追及集会とする」
	15:00	農学部グラウンドにおいて全学教官集会を開くことになり、教官約 500 人が集合加藤総長代行の到着をまつ。
	15:00	共斗会議派学生約 20 人が大講堂前広場に集合した。
	15:15	同広場前に共斗会議派学生約 150 人 (赤、白、青、黒ヘル着用) が集合し、デモ隊列を組み農学部方面に向う。
	15:20	上記デモ隊は農学部グラウンドに押しかけ、教官の集団の中央に坐り込み、「加藤出てこい」「大衆団交貫徹」を叫び「全学大衆団交要求をめぐるいきさつを説明せよ」と教授集団に迫った。 このため“全学教官集会”は午後 3 時 35 分流会となり、大多数の教官は帰り、全学集会交渉委員の井上光貞教授らが残り、学生側に全学集会の予備折衝に関して説明を行なったが、話し合いは平行線をたどり学生は午後 4 時 25 分引きあげた。その後学生は大講堂前広場に戻り約 200 人位が集会を行なった。
	15:30	総合図書館玄関前に「明日 図書館封鎖」の共斗会議の立看板が出され、また共斗会議議長名で図書館職組委員長に対し「明日図書館を封鎖する。勤勉手当斗争は支援する」との通告が行なわれた。
	19:00	教養学部スト派学生約 150 人が教養学部第 1 研究室および第 2 研究室を封鎖し始めた。待機していた教官、一般学生多数がこれを阻止しようとしたが、これを押しきって午後 7 時 15 分封鎖を完了した。 なお、駒場構内に 14 日には第 3 および第 6 の両本館を封鎖するとの立看板が掲出されている。
	19:00	共斗会議派学生約 110 人 (赤、白、青等のヘルメット着用) が封鎖貫徹を叫んで大講堂前一病院前一医学部中央図書館前一社研通り一文学部アケード一工学部 8 号館のコースでデモ行進した。

	19:15	午後6時頃工学部7号館の航空学科主任教授に対し、同学部7号館を午後7時頃封鎖する旨全学共斗会議および工スト実行委から申し入れがあった。 一方航空学科3年生が主体となって午後7時寸前から同館の封鎖を開始し、全学共斗会議のデモ隊約100人が応援にきて午後7時15分同館の封鎖を終了した。
	20:45	工学部7号館の電話60本遮断した旨通信連絡課より報告があった。
	21:00頃	文学部集会再開され、林文学部長、山本信助教授が学生と話し合いを行なう。
	22:15	上記集会は終了した。 その後、林文学部長は頭痛を訴えたため、学生側は大学側が要請した医師の診断を認めることになった。
	22:40	応微研柳田所長より農学系大学院学生の情報によれば、全学封鎖は明日の午後2時に行なう。
		明朝登庁の教官を安田講堂へ連れて行き、午後の集会に引き出すとの電話連絡があった。
		(その他) 1. 医科研において午後3時から開催中の医学部教授総会に医学部基礎教室関係の助手約40人が押しかけ同研究所講堂で教授団に午後5時30分から同6時30分約1時間会見し、医学部大衆団交を開くことを要求した。 2. 大学側の全学集会開催のための予備折衝の申し入れに対し、民青系はこれに応ずると回答してきた。 一方共斗会議は拒否回答を行なった。 3. 教育学部教授会は新学部長に大田堯教授を、また評議員には岡津守彦、肥田野直の両教授を選出した。
11月12日(火)	0:00	保健センターの佐々木智也助教授ら3人の医師が法文2号館に入り、林文学部長の診断を行ない、また午前1時頃には青医連医師1人も加わった。林文学部長は疲労し、意識ももうろうとした状態であった。
	2:00	林文学部長は学生側の監禁をとかれ封鎖中の研究室出入口から学生2人に担架で運び出され病院に入院した。
	5:00	山本信助教授も法文2号館から退出、帰宅した。
	11:35	山上会議所前で全学集会開催についての民青系学生との予備折衝が開かれ、大学側から江村稔(経)飯田修一(理)水野忠文(育)の3教授が全学集会交渉委員として出席、学生側は東職等を含め約250人が参加した。 学生側は大衆団交要求、本日工学部当局がロックアウトを行なったとして、その事実および全学封鎖についての大学側の態度について追及した。しかし交渉委員は予備折衝の方法等についてのみ交渉したいと述べ、加藤総長代行の見解を文書で述べた。
	13:40	革マル系学生約20人がその週辺をデモした。

15:00	山上会議所前の交渉で民青系学生は①統一代表団を認めよ（共斗会議派のスト実・斗争委の除外）②次回責任ある大学側の代表者を出席させよ。③全学集会を15日に実行せよと迫った。交渉委員はこれについて確答せず、そのまま午後4時10分頃まで押し問答を繰り返したが学生側は共斗会議派学生の全学封鎖に備えるため交渉を打ち切った。
15:00	大講堂前に共斗会議派学生約100人が集結した。
16:00	同講堂前広場で11・12東大斗争勝利・全学封鎖貫徹総決起集会が開かれ、共斗会議派学生（助手を含む）約600人が参加し、約450人が学内デモを行なった。その後大講堂に入り集会を続行したが、参加者はさらに増え約1,000人に達した模様。
16:00	教育学部前に民青系学生約200人が集まり、全学封鎖阻止を呼び集会を行なう。
16:40	民青系学生は約300人となり集会で①ヘルメット、角材を用いない②封鎖を実力で阻止することを決議した。
16:55	民青系学生約400人となり学内デモを行なう。
17:00	総合図書館は共斗会議派学生の封鎖に備え閉館した。
17:00	総合図書館正面玄関前に一般学生約30人、民青系学生、大学院生、東職、生協職員等約300人が集まり、同館封鎖阻止を呼び集会を開いたが、午後7時頃には都学連の応援をえて約800人となる。
18:10	大講堂から共斗会議の革マル、社学同、同ML派、フロント、社青同各派学生約700人（全員ヘルメット着用）が出て同講堂前広場に終結後、工学部1号館（土木、建築学科所在）に向う。
18:18	共斗会議派学生は同1号館前で全学封鎖のシプレヒコールを行なった後、同館に乱入しようとし、封鎖を阻止しようとして待機していた工学部教官学生約100人ともみ合いとなった。共斗会議派学生の先頭はこれを押しつけ館内に入り、すでに同館にいた工スト実行委の学生と呼応して出入口等にロッカー等でバリケードを築き封鎖を行なった。また残りの共斗会議派学生は同館前に坐り込む。これに対して一般学生は「暴力学生かえれ」「封鎖反対」を叫んだ。
18:30	同館を完全に封鎖した。
19:30	共斗会議派の学生は同館から総合図書館の封鎖に向う。
19:35	総合図書館前の民青系学生等約800人はヘルメットを着用、スクラム組み、共斗会議派の学生の同館突入を押し返えし、乱斗を演じた。
19:45	共斗会議派学生はいったん退き、学内デモを行なった後、大講堂前広場に戻り集会を開いたが徹底攻撃か否かをめぐり、強硬派の革マル、フロント、社学同と慎重派の社青同とで意見が対立した。
20:29	共斗会議の強硬派学生は封鎖強行を決め、まず革マル系学生約120人が角材で武装し、再び総合図書館に押しかけ角材を振り他大学生の増援により約1,000人となり、ヘルメット、ゲバ棒で武装した民青系学生と激しく乱斗したが約2～3分で敗れ退いた。その後民青系学生はさらに約1,200人となる。

20:40	態勢を立て直した革マル系学生とフロント、社会学同、同 ML 派学生約 600 人は三手に分れ、民青系学生に対し、石、空ビン等を投げ、消火器の液を浴せ角材を振り攻撃した。民青系学生もゲバ棒でこれに応戦し、双方に負傷者が続出した。この乱斗に総合図書館周辺で見まもっていた多数の教職員、一般学生から「止めろ、止めろ」のシュプレヒコールが起った。
20:55	共斗会議派学生は数回にわたり攻撃をかけたが押し返えされ、大講堂前に引きあげた。なお、社青同系学生約 200 人は乱斗に介入せず全学封鎖を叫び周辺をデモしたが赤門付近を通り大講堂に戻った。
21:05	竜岡門に共斗会議派学生 5 人がきて、機動隊導入を警戒をすとして大門を閉鎖したが、午後 9 時 30 分頃引きあげた。
21:30	大講堂前広場に集結していた革マル系は文学部学生会室へ、社会学同は大講堂内に、医学部共斗会議は医学部中央館にまた社青同の一部は解散した。
22:30	総合図書館前の民青系学生約 1,200 人が学内デモを行なったが午後 10 時 50 分頃同館前に戻り集会を行なう。
23:50	民青系学生は一応解散し、同館付近で分散して集会を行なう。

11月13日(水)	0:20	民青系学生約 600 人(都学連)総合図書館前から教育学部前に移動し集会を行なう。
	1:10	上記学生約 350 人は教育学部に入り、泊り込み、他は解散した。
	8:50	教育学部から民青系学生約 140 人が出て、学内デモを行なう。
	11:00	教育学部内には民青系学生約 200 人が待機している模様。
	12:15	大講堂前に共斗会議派学生約 30 人が集合、学内デモを行なう。
	12:20	银杏並木アーケード付近で法学部教授会追及集会が開かれ民青系学生約 200 人に集合した。
	13:30-14:00	大講堂から共斗会議派学生約 50 人が出て上記集会を妨害、民青系学生ともみ合う。
	14:20	上記集会は流会となり、民青系学生はデモに移り、银杏並木一病院前—医学部中央館—医学部本館—教育学部のコースで行進の後同学部前で集会を行なう。
	14:45	上記集会を終り、解散した。
	15:30	加藤総長代行の「学生諸君に訴える」との昨 12 日の図書館前乱斗事件について反省と一般学生に協力を訴える掲示を学内各所に出す。
16:00	工学部 7 号館前に学生約 50 人が集合し、11 日の同館封鎖の経緯について報告があり、これについてさらに討論を行っていたが、午後 5 時 15 分頃解散した。	
17:35	東職書記局前において東職の集会が開かれ約 50 人(女子多数)が集合した。	

17:40	各学部、研究所等の8単組員が参加し、約200人となる。集会は代々木書記が司会し、東職書記長、病院、生協、教育学部学生自治会の各代表、日教組代表等が、総合図書館の封鎖阻止行動の成果と今後の協力態勢等について次々と演説を行なった。
19:05	東職の集会は終了、約150人が学内デモに移り、東職書記向前一病院前一医学部中央館前一医学部本館一教育学部（同学部前から学生、大学院生が参加し、約250人となる。）一正門一赤門一工学部5号館のコースで行進した。また工学部5号館前ではさらに集会を開き、封鎖反対、大衆団交実現、東大民主化を決議したが、農学部代表の要請により、農学部グランド前まで行進し、午後8時3分解散した。

11月14日(木)	8:00	13日の農学部大学院生の14日～16日までの時限スト批准投票の決定により民青系の同大学院生約60人が農学部正門を閉鎖し、脇門にピケをはり、登校する教官に抗議し、また大学院生に説得を行っていた。なお、農仮門を閉鎖陸橋でもピケを張る。
	11:00	農学部正門・仮門閉鎖を解除、ピケも解く。
	11:00	正門付近に下記立看板が出されている。 { 11.15 2万人集会 図書館前 全学全階層統一スト 教育機関閉鎖特別立法反対 機動隊導入阻止 東大斗争勝利行動委（民青）
	11:00	大講堂前広場に下記立看板が出されている。 { 11.18 東大斗争勝利、全学バリケード 封鎖貫徹総決起集会 東大反帝学生評議会
	12:00	駒場の教養学部時計台前に民青系学生が集合を始める。またこれに前後して共斗会議派学生も学寮前で集合を始めた。
	13:00	共斗会議派学生約30人が駒場の第3本館に押しかけ、中にいた共斗会議派の学生の誘導により同館に入る。
	13:40	これを知った民青系学生約100人が第3本館に押しかけたため助手、大学院生が説得した。 その後共斗会議派学生は裏口から退去した。
	14:00	法学部25番教室において同学部学生大会が開かれた。
	14:00	民青系学生約350人（内他大学生約150人）が銀杏並木で集会を行なう。共斗会議派の学生は約200人が集結、本郷からも応援がきた模様で午後5時に第3、第6本館を封鎖すると述べていた。
	15:10-15:40	銀杏並木で共斗会議派学生約400人（主力革マル、フロント、ヘル着用者約100人）と民青系学生約800人がもみ合い、20数人が負傷した。このときクラス連合の一般学生が間に入り民青系学生と合流したかたちで共斗会議派の学生を押しもどした。
	15:50	教官、一般学生多数が仲裁を行ない乱斗は終結した。

15:50	民青系学生は第3、第6本館付近の銀杏並木に集結、共斗会議派学生は約150メートル離れた同並木に集結、それぞれ集会を開く。またその中間にクラス連合等の一般学生約400人、教官約100人が坐り込みを行なう。
16:10	共斗会議派学生は民青系学生にデモをかけようとした。そこで待機していた教官約50人がこれを制止し、衝突を防いだ。このため共斗会議派学生は時計台前に移動し集会を開く。
17:30	共斗会議派学生は総括集会で「18日全学封鎖を行なう」ことを決議し、集会を終了。 約400人（内ヘル着用約200人）が構内デモに移る。
18:00	構内デモを行なった共斗会議派学生は民青系学生の集会地点に向ったが、銀杏並木で多数の教官および一般学生に制止され、午後5時45分学生会館前で解散した。
18:40	民青系学生は約1,000人となり総括集会を終り構内デモを行なう。
19:00	デモを終り900番教室に入り集会を開き、今後の斗争計画を討議している。
20:30	法学部学生大会別記の提案採決の後終了 その後、緑会の学生約200人は学内デモを行ない解散した。
20:55	駒場の900番教室における民青系学生の集会は終了、約600人が構内デモを行なった後解散した。

法学部学生大会採択一覧表

11.14. 於法 25 番教室
(午後2時～午後8時30分)

		賛成	反対	保留	否・可	
第1次 提案採決 (午後6:20) 出席数 767 委任数 1	緑 会	219	419	113	否決	統一代表団全学団交 封鎖阻止
	法・学生懇談会	317	393	60	〃	スト終結 全学集会開催
	法・斗争委	113	580	69	〃	7項目要求 全学封鎖
第2次 緊急提案採決 (午後8:10) 出席数 580 委任数 5	大山・河内	217	241	108	否決	統一代表団 封鎖阻止
	法・有志	377	126	62	可決	全学封鎖反対 暴力反対に立て
	森 田	256	170	118	可決 保留	封鎖反対、法斗争委は 自己批判 外人部隊導入反対
	河 内	拍手で可決				11月20日に学生大会を開く

11月15日(金)	4:00- 5:00	共斗会議派学生7人が工学部1号館付近からコンクリートの敷石らしきものを数回にわたり大講堂に搬入した。
-----------	------------	--

8:00	農学部において民青系大学院生が前日について時限ストを行ない、同学部正門、仮門および陸橋にピケを張る。
9:00-22:20	学部長会議開催（海洋研）
12:00	銀杏並木アーケード付近において東大斗争勝利行動委（民青系）の集会が開かれ、学生、院生、東職、生協、好仁会等の職員等約450人が集合した。集会では12日の図書館前の共斗会議との衝突および14日の駒場の同衝突の両事件に関して、その状況が報告され、さらに今後の対策等が討論されたが「上記衝突による負傷者の治療費を全額負担せよ」との申し入れを文学当局に行なうことを決議し、午後2時10分集会を終了、学内デモに移り、銀杏並木一正門—教育学部—総合図書館のコースで行進、午後2時40分同図書館前で解散した。
12:00	農学部のピケ解除となる。
14:00	理学部2号館において全国大学院生統一行動中央集会が開かれ、午後5時15分終了、約120人が旗6本、プラカードをもち赤門を出構、文部省ヘデモに向った。
21:50	共斗会議派の革マル系学生約150人がヘルメット、角材姿で大講堂から出て 御殿下グラウンドに集結、軍事的訓練を行なう。そのさいリーダーが「我々は民青を東大から絶対に追放しなければならない。この部隊はその任務をもっている。基本から訓練する」と訓示していた。
23:30	同上訓練を終了、大講堂に引きあげる。

11月16日(土)	10:07	18日共斗会議派学生の全学封鎖が予定され、これを実力で阻止しようとする民青系学生の動きがあるため、加藤総長代行、坂本義和（法）・藤木英雄（法）松田智雄（経）各教授が、まず共斗会議派に接解し、話し合いを行なうため大講堂に入る。
	11:18	大講堂第1会議室において、加藤総長代行および上記3教授と共斗会議派の学生約100人との間で全学集会の予備折衝につき話し合いが始められた。学生はその後も増え約200人となる。席上学生側は「18日に大衆団交を開け」と要求し、さらに①仲野（文・学生）の処分について考慮されたい。②場所は安田講堂とする③少なくとも21日頃を開け④大学院生は東院協執行部にしぼる等の条件を出した。
	16:10	上記話し合い休憩に入る
	16:40-17:25	教養学部のクラス連合を母体として発足した大学革新会議の学生約120～130人が大講堂前広場で集会を開き「内ゲバ反対」「全学封鎖反対」「外部勢力導入反対」を叫び、さらに「大衆団交要求」を行なう。
	16:50	法学部有志連合の学生約50人が大講堂周辺をデモし、大学革新会議と同趣旨のシュビレヒコールを行なう。
	20:45	大講堂第1会議室において加藤総長代行と共斗会議派の学生との話し合いは午後8時頃再開され「18日午後1時から全学集会を開くための公開予備折衝を大講堂内で行なう」ということで合意に達し、加藤総長代行および3教授は同講堂から退去した。

21:15	加藤総長代行、飯田修一（理）寺沢一（法）各教授および関口尚志（経）助教授が理学部化学科新館に入る
21:20頃	共斗会議派学生角材 90 本を大講堂に搬入した。
21:50	大講堂内から共斗会議派学生約 150 人が出て周辺をデモの後、講堂前でシュブルヒコールを行なう。
22:05	上記デモ隊解散、1 部は大講堂に入る。
22:15	理学部化学科新館講堂において民青系の統一代表団準備会代表と全学集会のための予備折衝を開くことに関し、話し合いに入る。

11月17日 (日)	3:00	理学部化学科新館における統一代表団準備会（民青系）と話し合いは一応中断となる。
	13:20	法学部 25 番教室に民青系学生等約 150 人が入り集会を行なう。
	13:20	正門付近で法学部学生懇談会の一般学生約 10 人が全学封鎖反対のプラカードをもち集会を行なう。
	13:30	加藤総長代行、飯田修一（理）寺沢一（法）各教授および鈴木成文（工）佐藤誠三郎（養）各助教授が法学部 25 番教室に入り、統一代表団準備会 10 人（内東職 2 人）と話し合を行なった。会場は公開のため学生、教職員、報道陣約 1,000 人が入場した。冒頭統一代表団準備会側は前日の共斗会議派学生と合意に達した。18 日の公開予備折衝に強く反発した。これに対して加藤総長代行は「全学封鎖とそれに伴う学生両派の激突を防ぐことがこの話し合いのねらいである」と説明した。準備会側は追及の方向をかえ「この席を公開予備折衝の場に切替えよ」と迫ったが、総長代行はこれをうけつけず、また準備会側が「大学は 13 日、図書館前の乱斗という声明を出したが、我々は封鎖を身をもって防いだ。正当な行動をとったものであり、声明は撤回すべきだ」と追及したのに対し、「封鎖には反対する。しかし力に対する力、とくに外部の学生まで入れた力の対決にも同様に反対する」と譲らず。東職の参加問題等も出されたが、午後 6 時 25 分休憩の後続開された話し合いにおいて最終的には「全学集会のため、統一代表団準備会との公開予備折衝を 19 日午後 1 時から法学部 25 番教室で開く。」との確認を文書で行ない、午後 8 時 30 分終了した。
	14:00	駒場の教養学部 900 番教室において革マル全学連主催の“70 年安保粉碎革共同政治集会”が開かれ、約 800 人が参加した。午後 3 時すぎ同派の学生約 300 人がヘルメット姿で「民青のスト破りを実力で阻止する」と呼び構内をデモした。
	15:00	赤門付近で民青系学生の“東大斗争支援全国学生総決起集会”が開かれ、全国から同系の他大学生（信州、京都、東京理科大、埼玉、岩手、明治学院、立教、愛知、中央、都立大等）約 2000 人が動員され、これに参加した。
	15:00	一方共斗会議派も他大学の学生の応援を求め、大講堂内で全都学生連帯集会が開かれた模様。
15:00	大学革新会議の学生約 35 人が総合図書館前で集会を開き、その後午後 3 時 30 分頃学内デモを行なう。	

15:47	社会学同、ML 派の中大生約 160 人竜岡門から入構医学部中央館に入る。
16:00	全学有志連合の学生約 100 人が正門付近で集会後学内デモを行なう。
17:15	ヘルメット着用の ML 派学生約 50 人が施設部横の鴻池組工事現場に侵入、宿直員の制止するのきかず、足場板 200 本、バタ角 15 本、鋼製パイプ約 50 本を持ち出し、大講堂に運び、午後 6 時すぎには同講堂正面玄関の車寄せを 3 方面から板張りし、バリケードを築く。
18:55	駒場における政治集会終了、革マル系学生約 600 人が本郷に向い、その後午後 9 時 40 分正門から入構し、大講堂に入る。
19:20	駒場において民青系学生約 700 人が 763 番教室において約 700 人が集会を行っていたが、集会を終り、本郷に向った。
20:50	教育学部前にいた民青系の他大学応援部隊約 2500 人は激しい軍事的訓練を行なった後、総合図書館前に集結した。さらに法学部 25 番教室の話し合いを終り退場した民青系の学生もこれに合流約 3000 人となり学内デモを行なう。
23:30	大講堂内の共斗会議派学生は 1 階の入口や、各部屋の窓、扉等にロッカー等を積上げ防備を固める。
23:30	赤門付近で民青系の応援部隊再び軍事的訓練を行なう。

11 月 18 日 (月)	0:30	共斗会議派学生約 100 人が御殿下グラウンドで軍事的訓練を行なう。
	2:00	共斗会議の ML 派学生約 50 人が施設部横の鴻池組工事現場に侵入、宿直員の制止をきかず、角材 350 本 (注 角材約 700 本分) を持ち出し大講堂に運び込む。
	2:00	民青系の他大学応援部隊は第 2 食堂に約 400 人、中大、法政、教育大等および付近の旅館に約 1,000 人が分宿、また教育学部には約 300 人が泊り込みを行なった。
	9:40	大講堂前に共斗会議派の社会学同学生約 65 人が角材、鉄パイプを持ち整列し、附近をデモし、午前 10 時頃大講堂内に入る
	10:00	教育学部付近に民青系の他大学応援部隊約 1,000 人が分散待機している。
	11:00	大講堂から革マル系学生約 400 人が出て体操後、全員角材パイプをもち「民青粉碎」を叫び学内デモを行ない、さらに大講堂前で軍事的訓練を繰り返した。
	11:40	大講堂からフロント系学生約 50 人が角材、鉄パイプをもち出て付近をデモした。
	11:50	赤門から民青系学生に応援の法政大生約 60 人が入構した。
	12:00	工学部有志連合約 50 人が「暴力反対」を叫び学内をデモした。
	12:50	学生部において正門、赤門、竜岡門、弥生門および農学部正門に「東大教職員、学生以外の方の入構はご遠慮下さい」との立看板を掲出した。

12:50	大講堂における共斗会議の予備折衝会場には学生が続々入場し、演壇真下には革マル系学生が、その背後には法学部有志連合が席を占める。会場には約 1,500 人がつめかけた。
12:55	加藤総長代行、松田智雄（経）坂本義和（法）両教授および石井柴郎（法）助教授が大講堂に入った。
13:00	大講堂前広場に革マル系学生約 500 人が坐り込み、その周辺には一般学生、教職員約 1,500 人が大講堂の模様を見まもる。
13:10	駒沢大生約 150 人（青ヘル着用）が正門から入構した。
13:30	教養学部の共斗会議派学生約 400 人が正門から入構、大講堂に入る。
13:45	東京外語大生約 50 人正門から入構、大講堂に入る。
14:00	大講堂内において加藤総長代行と全学共斗会議との全学集会予備折衝が開始された。（内容別紙）
14:05	大講堂前広場に坐り込みを行っていた革マル系学生は文学部に入る。
14:20	一般学生が「大講堂に入場させろ」と要求し、同講入口でもみ合う。
14:27	革マル系学生約 230 人文学部を出て正門から出構した。
15:00	共斗会議が報道陣の大講堂内取材を認めた。
15:20	一般学生約 150 人が全学封鎖反対を叫び学内をデモ行進した。
15:55	大講堂内の入場者約 3,000 人となり、また大講堂周辺には教職員、一般学生約 3,000 人が大講堂からの予備折衝の状況の放送に聞いている。
16:00	東外大生約 30 人が正門付近の民青系学生の立看板を破壊後同門から出構した。
16:00	赤門付近に待機していた民青系の応援部隊約 300 人が同門から出構した。
17:00	総合図書館前で民青系学生・大学院生約 400 人が集会を行なう。
19:00	赤門付近に民青系の応援部隊約 600 人が待機している。
19:20	大講堂の予備折衝は学生側が一方的に打切った。
19:25	加藤総長代行は大講堂から退出 報道陣とともに工学部 2 号館に入り、マイクを通じ大講堂前広場に集まった教職員、一般学生に「最悪の事態をさげ、一歩前進することができた」というメッセージを読み上げるとともに坂本義和教授が記者会見を行なった。
19:30	大講堂から駒沢大生等約 350（青ヘル着用）が出て同広場でデモを行なう。このため一般学生が「帰れ、帰れ」と連呼した。同大生は午後 8 時 10 分正門から出構した。
20:00	大講堂前広場に共斗会議派学生およびその応援部隊約 1,500 人が集結、決起集会を開く。一方民青系学生は総合図書館前に約 300 人、教育学部前に約 1,500 人が集結した。
20:40	共斗会議学生、学内デモに移り、一大講堂前—病院—医学部中央館—医学部本館—赤門—都電通り—正門のコースで行進、午後 9 時 10 分頃大講堂広場に戻り約 400 人は大講堂に入り他は解散した。

21:00	工学部列品館前で一般学生約 1,200 人が集会を開き、全学封鎖反対と大衆団交の実現等を討論したが、午後 9 時 45 分解散した。
22:15	教育学部前に民青系学生約 1,700 人が集結し、デモに移り総合図書館付近を一周後、医学部本館—医学部中央館—病院—第 2 食堂のコースで行進。同食堂前で封鎖反対を叫び討論を行ない、午後 11 時 30 分頃解散した。なお、同食堂には約 280 人が、また教育学部には約 300 人が泊り込みを行なった。

共斗会議派との予備折衝の状況

折衝は共斗会議派の学生議長団の議事進行で始められ、共斗会議は「この予備折衝は単なる折衝ではなく、8・10 告示の撤回、7 項目要求を貫徹するための大衆団交である」とあいさつ、要求を勝ちとろうなどのシプレヒコールを行なった。加藤総長代行は「この場で私達新執行部の考えを知らせ、取捨について話し合うため出席した。予備折衝における学生の意向は 25 日までに評議会、教授会で議論し、大学の意見をまとめ一応の結論を出したい。なおこれは 8・10 告示にとらわれないで考えていく」と述べた。

これに対して学生側は「要求を認める方向で予備折衝するのでなければ意味がない」と詰めよった。

このあと議事に入った。

1. 学生側はまず「8・10 告示」の撤回を要求した。
総長代行は①大学側の責任が不明確であった点に誤りがあり、学生対策的であった。②医学部処分問題については再審査委を設け、審査を行なったことは適当③大学問題検討委を設け、検討を行なうにあたり学生に相談しなかった点について誤りと考える、と回答した。
2. 学生側は次いで「医学部処分」は一応白紙撤回したが、これは学生の要求にこたえたのか、それとも従来大学の枠内で解決したか、と迫った。
総長代行は①学生がなぜ医学部処分撤回を要求しているかと言う点については、学生の権利、自治について問題があるということを考えさせられた。②学生の処分撤回要求に答えたかどうかは、当局としては再審査委の結論と評議会の決定によるものであり、学生として判断してもらいたい。③医学部処分は政治的意図はなかったが、主観的には学生に弾圧ととられるような点があった。しかし春見事件は事実であると回答した。
3. 学生側はさらに「文学部処分問題」を持ち出した。
総長代行は①文学部において慣行に基づき適正な手続により行なわれたもので、教育的処分であり、本人に反省を求めたものであった。②今後問題にするとすれば、文学部教授会と文学部学生の間で解決すべきものである。③過去の問題については従来慣行によった。今後については新しい観点から検討すると回答した。
4. 総長代行は「新執行部の態度」については、諸君の要求かどれか正しいか、どうかを従来慣行にとらわれず検討していきたいと述べた。
5. 学生側の「旧執行の責任追求」については、総長代行は、大河内書翰に述べられている。それは粒良君への陳謝と、11 人についても誤りであったと述べている。これが大学側の公式な立場である。諸君を弾圧したため破産したということではないと回答した。
6. 学生側は「今後の紛争に関する処分問題」について処分をしないと確約しろと要求した。これに対して、総長代行は慣行に従えばストは当然処分の対象となるが、また結論は出ていない。新執行部としては処分を行なわないということも考えられているが、民主的な手続によるべきで、ここで結論を迫るということは諸君が私に独裁者になれということか、と反論、さらに従来慣行にとらわれないと回答した。

7. 学生側はまた「医学部の卒業試験強行」は8・10告示によって行われたものではなく、卒業試験を受けたいという学生があれば受験させるべきで、それは医学部内の問題と回答した。
同時にインターン制度改善については、医学部の態度に充分でないものがあった。青医連を相手として話し合いを行なうべきあったと述べた。
8. 最後に総長代行は、本日の集会は25日の全学集会の予備折衝であり、本日は大学側の意見を掲示すると同時に諸君の見解をまとめるためのものである。諸君の要求事項の中で正当と判断できるところは信念に基づき教授会等で検討して正しいものを取り入れると述べた。
学生側は「これ以上続けても意味はない。この次に加藤総長代行と会うとすれば、それは執行部が8・10告示撤回、7項目要求容認をする以外にないと宣言し交渉を打ち切った。

11月19日(火)	10:00	教育学部前に民青系の他大学応援部隊約250人が屯している。
	12:00	上記応援部隊赤門から出構した。
	12:30	法学部25番教室付近で民青系学生約30人が集会、その周辺に約50人が屯している。
	13:15	加藤総長代行、寺沢一(法)教授、鈴木成文(工)、佐藤誠三郎(養)各助教授が法学部25番教室に入る。
	13:25	上記教室において加藤総長代行と統一代表団準備会(民青系)との全学集会の公開予備折衝が開始された。会場には学生、教職員、報道陣約1,000人が詰めかけ、他に法学部22番、31番教室等にも約600人が入場し、マイクを通じて交渉に聞き入った。(容内別紙)
	13:30	工学部大講堂において同学部学生大会が開かれ学生約1,000人が参加した。大会では討論の後、第1回の投票で①共斗会議派の工スト実行委の「全学封鎖、7項目要求貫徹」②民青系の工学部民主化斗争の会の「統一代表団で全学大衆団交、全学封鎖反対」③工学部有志連合の「7項目要求、全学封鎖反対」の3案が提案されたが、①および②を否決し③は可決保留された。 このあと緊急提案として①機械系4年有志から「全学バリケード封鎖反対」が出され賛成504、反対325、保留39で可決、更に②工学部有志連合の「早期大衆団交実現のため学部学生代表6人を選出する」との提案も賛成442、反対357、保留62で可決し、代表6人(一般学生5人)を選出した。このほか③封鎖解除、7+2項目、工学部代表団選出、④スト実解体、自治会委員罷免⑤④の修正案⑥スト実行委の欺瞞的取捨策動粉碎、11・22集結の緊急提案も出されたが、いずれも否決し、20日午前1時30分大会を終了した。
	17:00	公開予備折衝は休憩に入る
	17:20	予備折衝再開される。
	23:10	前記予備折衝は終了した。

統一代表団準備会との予備折衝の状況

折衝は学生側が前日の共斗会議との予備折衝について「正式な手続きで選ばれた学生の代表は統一代表団準備会であるにもかかわらず正式な学生の代表でない共斗会議とどうして予備折衝をしたのか。また同会議を代表と認めるのか」と食い下った。

これに対し加藤総長代行は①学生の間には現実には二つの団体がある。共斗会議派公式な団体ではないが、7項目要求は経、文、工など8学部で支持されており全学集会の予備折衝とすべき相手と考えた②学生側の議長団編成は学生自治の問題である。各学部、大学院で民主的に選ばれた代表で構成するという確認を行なった。このあと学生側は職員組合代表を加えるべきであると強く要求したが、総長代行は「職員組合には教官が加わっている。紛争は教官と学生との間に生じたもので教官が当事者双方に加わるべきではない。職員組合とは別の機械に話し合う」と拒否した。

さらに全学集会の議題についても学生側は共斗会議の7項目要求をはずし、「処分問題、機動隊導入問題、その他大学の管理運営の改革問題」とする様迫ったが、総長代行は「7項目要求は多くの学部でかけられている。新執行部が全学集会開催の呼びかけの中で使った”7項目要求および学生・院生諸君が提起しているその他の要求項目”という表現でどうして悪いか」と突ばねた。

その後結論の出ないまま次の確認事項をまとめて終了した。

1. 全学集会（大衆団交）における学生、大学院生の議長団（代表団）は各学部学生および各系大学院生の自治組織から民主的な手続きにより選出された代表で構成する。
2. 教授会メンバー以外の講師、助手は処分や、機動隊導入問題について責任がない。
3. 議題の具体的内容および東職の問題は継続して審議する。
4. 次回の予備折衝は数日中に全学交渉委員会が総長代行と連絡をとりつつ行なうものとする。

11月20日(水)	9:30	大講堂前に下記立看板が掲出された。 { 11.22 東大、日大、斗争勝利全国学院 総決起集会 { 東大全学共斗会議・日大全学共斗会議
	9:30	学生部において各門に下記立看板を掲出する。 「本学は現在の事態を自主的に解決しようと努力していますので学外者の入構を固くお断りします。 11月20日 東京大学」
	13:00	薬学部記念講堂において同学部学生大会が開かれ、学生約90人が参加した。 大会では①全学集会に対する薬学部自治会の態度②全学封鎖に対する態度③全学集会の議長団の選出方法等が討議され後、採決に入り、①スト終結（一般学生、4年有志提案）を賛成18、反対63、保留12で否決、さらに②全学封鎖反対（4年生有志提案）を賛成22、反対29、保留14で否決し、③全学集会代表はスト実行委から選ぶことを確認して午後9時5分大会を終了した。
	14:00	法学部25番教室において同学部学生大会が開かれ学生約931人（委任1人）が参加した。 大会では討論の後、別紙の提案採決を行なったが、いずれも否決、これまで同様「無期限スト続行、全学封鎖反対」の態度を確認して大会を終了した。
	14:00	経済学部第1教室において同学部集会が開かれ、教官側約30人学生側約250人が参加した。

	<p>同学部集会では学生側から①医学部の学生処分解除は、評議会でどのような決定をしたか②文学部学生処分の白紙撤回③3月以降の追加処分はするな等の質問、要求が出され、また教官側からは①22日に外人部隊を導入するな②経済学部研究室の封鎖を解け（これに関連して学生の建物の自主管理と火災等の場合の責任問題）との要求が出され、意見が交換された。教官側はなお今後も学部集会を開くことを約束して、午後7時5分集会を終了した。</p>
16:00	<p>理学部2号館講堂において同学部学生大会が開かれ、学生約300人が参加した。</p> <p>大会では、討論の後、まず第1次提案の採決が行なわれたが、①理自治会正・副委員長、東大民主化理行動委共同提案②理学部有志③理斗争委の各提案をいずれも否決し、第2次の緊急提案の採決では①理斗争委②今井個人③吉田個人（スト終結案賛成28、反対217、保留24）④理自治会正・副委員長の各提案が否決され、⑤森田、小川、鈴木3者提案（全学大衆団交の代表を選出する案賛成128、反対116、保留28）が可決保留され、21日午前零時30分大会を終了した。</p>

11月20日法学部学生大会 ①					
採決一覧表					
P.M 5:10					
現在数	572				
委任状	不明				
		賛成	反対	保留	
		214			
① P.M 6:50					
現在数	931				
委任状	1				
①緑会提案		177	609	126	否決
②法斗 〃		147	671	82	〃
③懇談会 〃		366	498	14	〃
④封鎖阻止 法実委 〃		269	402	211	〃
P.M 7:25					
現在数	830				
委任状	1				
⑤		370			否決
提案内容					
①本日の学生大会において大学院生の発言を認めるか。					
①'4項目、封鎖阻止、代表1名選出					
②7項目、全学共斗会議に結集					
③スト解除、代表1名選出					
④封鎖阻止、連絡協議会（学生・教官）準備会設置、代表各1名選出					

11月20日法学部学生大会 ②					
採決一覧表					
緊急動議					
P.M 7:25					
現在数	830				
委任状	1				
		賛成	反対	保留	
①		370			否決
緊急提案					
P.M 8:55					
現在数	412				
委任状	1				
②法斗提案		112	248	38	否決
③緑会 ッ		128	231	41	〃
④瀬山 ッ		85	293	23	〃
(法学部懇談会)					
提案内容					
① 12月4日に今年最後の学生大会を開く					
② 7項目、全学共斗会議へ結集して闘う。					
③ 11.19 予備折衝確認事項に基づき大衆団交要求代表1名選出・全封反対。					
④ 封鎖解除、スト解除、バリケード撤去。					
※次回学生大会は議長が適宜招集する。					

11月21日(木)	8:30	大講堂前に下記立看板が掲出された。 { 11.21 東大斗争勝利全学連全国総決起集会 午後6時 安田講堂 文学部学友会常任委(革マル)
	10:00-12:20	研究所長会議(法 研究室)
	11:00	大講堂前に下記立看板が掲出された。 { 11.21 東大斗争勝利、70年安保粉砕 労学総決起集会 午後6時、医学部講堂 社青同東京地本、全国反帝学評連合
	12:00	銀杏並木に下記立看板が掲出された。 { 11.22 東大民化主、文部省国交実現 全国学生総決起集会 全東大集会 12時30分 図書館前 全国学生連帯集会 2時 図書館前 文部省包囲デモ
	13:00	農学部2号館第1教室において同学部学生大会が開かれ、学生約243人が参加した。
	13:40	社青同系学生約220人(青ヘル着用)、武蔵美大、神奈川大、日大、明大、関東学院大、横浜国立大、九大、早大等の旗を立て正門から入構、大講堂前で集会を開く。

14:45	上記学生大講堂付近でデモ後同講堂に入る。加藤総長代行は「学外者は至急退去することを要求する」との説話および「大学は現在の学生の処分の方法や学生の権利の問題について再検討をしており、全学集会開催に努力する」との学生への訴えを出し、それぞれ学内に掲示した。
15:15	赤門から他大学生約30人がヘルメットを段ボール箱に詰め入構した。
15:23	赤門から他大学10人が入構
17:05	大講堂内に集合した社青同系学生約250人は総合図書館玄関前に移動、同所で約5分集会の後、御殿下グラウンド方面をデモし、医学部本館講堂に入る。
17:20	正門から関西共斗(革マル系)学生73人が入構した。
17:20-17:40	正門から他大学生(派不明)50人が入構した。
18:25-19:30	正門から下記学生が入構した。 革マル系172人、社学同25人、派不明173人
18:30	大講堂前に革マル系学生約300人が集合し、正門までデモ後、同講堂前に戻り集会を行なう。
19:20	農学部学生大会終了。(提案採決状況別紙)
19:55	法学部31番教室入口にトラック1台が到着角材を積下す。
20:00	大講堂前の革マル系学生約500人となる
21:00	上記学生約700人となり、同講堂前広場をデモし、午後9時30分頃からさらに学内デモを行なった後、御殿下グラウンド(約300人)、同講堂前広場(約300人)総合図書館前(約100人)の3ヶ所で軍事的訓練を行なう。
21:00	池の端門から他大学生20人が入構。
21:05	正門から民学同系学生約60人(明大、大東文化、金沢大、関西、中大、鹿大、早大その他)が入構した。
21:55	正門から革マル系学生約30人が入構した。
22:00	医学部本館から社青同系学生約600人が出て医学部中央館前に整列、約30分軍事的訓練を行ない、その後学内デモし、再び同館前に戻り、軍事的訓練を行なう。
23:20	革マル系学生約700人軍事的訓練を終り、大講堂前に集合午後11時35分散散地方大学生は泊り込みを行なうことになった。
	(その他) 1. 本郷通り商店街では明22日は早めにシャッターをおろし閉店するよう回覧板が出された。 2. 竜岡門から春日町および順天文から本郷3丁目交叉点にかけて夫夫200人が歩道の敷石を夕刻から取りはずし作業を行なった。

学生の出席	農学部学生大会		
	現在数 242	昭 43.11.21 委任状 1 名	午後 1 時～ 計 243 名

〔議案〕 第一回投票			
(1) 農・スト実行委員会提案			
賛成	62	反対	152
		保留	28
			否決
(2) 農学部有志提案			
賛成	103	反対	85
		保留	52
			可決保留
(3) 自治体正副委員長提案			
東大斗争勝利農学部行動委員会提案			
賛成	59	反対	142
		保留	39
			否決
(4) 農化3年スト実有志			
賛成	105	反対	94
		保留	41
			可決保留
(5) 林学科4年小倉提案 (1)			
賛成	36	反対	34
		保留	161
			保留
(6) 林学科4年小倉提案 (2)			
賛成	17	反対	53
		保留	167
			否決
〔議案〕 第二回投票			
学生の出席	現在数 215 名	委任状 6 名	計 221 名
(1) 農生4年クラス会提案			
賛成	93	反対	86
		保留	35
			可決保留
(2) 農学部有志提案			
賛成	120	反対	59
		保留	34
			可決
(3) 農学部スト実執行部提案			
賛成	70	反対	115
		保留	29
			否決
(4) 農経4年有志提案			
賛成	68	反対	79
		保留	67
			否決
可決事項			
○我々の意志を全く無視して行なわれようとしている全学共斗会議の「全学バリケード封鎖」の方針を断固糾弾する。			
○学外勢力導入に反対し、学内のいかなる暴力にも反対していこう。			
次回の学生大会は11月27日			

11月22日(金)	0:30	医学部中央館付近で軍事的訓練を行っていた社青同系学生約600人は医学部中央館と医学部本館に分かれ泊り込む。
	8:30- 9:45	赤門から他大学生180人、正門から同36人(革マル系金沢大生)、竜岡門から同35人が入構、弥生門から同約60人が出構した。
	9:00-10:35	学部長会議開催(法)
	9:45	大講堂前広場に工学部学生(赤ヘル着用)約50人、革マル系学生(鹿児島大、函大、札幌医大、東海大等)約100人が集合した。
	10:20	総合図書館佐竹事務部長から「共斗会議側学生が図書館職組に本日午前11時総合図書館を封鎖する旨通告があった」との連絡あり。

10:30	<p>大講堂前に革マル系学生約 400 人、フロント系学生約 100 人、その他赤、青等のヘルメット着用の工学部、医学部等の学生約 100 人が集合した。</p> <p>上記学生は総合図書館に向いデモし、一隊約 40 人が同館裏手に廻り、棟つづきの新聞研資料センターを通り抜け、同館に侵入し、閉じていた正面玄関入口の扉を開け、別働隊約 50~60 人を誘導した。学生は館内にいた職員に退去を通告、職員を追い出したが、伊藤四十二館長、佐竹事務部長らは共斗会議の責任者に面会し、館長室で講義と説得を行なった。学生側はこれをききいれず、同館各出入口にロッカー、机でバリケードを築き、午前 11 時同館を完全に封鎖した。</p> <p>伊藤館長らはすべてを見廻った後「管理を万全にするよう」要求し退去した。</p>
10:40	<p>医学部本館講堂に前夜から泊り込んでいた社青同系学生約 600 人が同館から出て赤門付近で軍事的訓練を行なう。</p>
10:50	<p>総合図書館周辺を革マル系学生約 400 人、フロント系学生約 100 人がデモし、社青同系学生約 600 人もこれに加わった。</p>
12:30	<p>正門内側に社青同系学生約 300 人が坐り込み集会を行なう。</p>
12:30	<p>教育学部玄関前に同学部教官および大学院生約 100 人が封鎖に反対し坐り込む。</p>
12:30	<p>赤門付近に学内暴力阻止統一集会の横断幕を掲げ一般学生約 150 人が坐り込みを行っていたが、午後 1 時 30 分頃には約 300 人となる。</p>
12:30	<p>総合図書館に革マル系およびフロント系学生約 600 人が坐り込み集会を行なう。</p>
12:53	<p>駒場から社青同系学生約 400 人が正門から入構した。つづいて革マル系学生約 510 人が入構、大講堂に向う。</p>
13:15-15:00	<p>赤門および竜岡門から民青系学生が続々と入構し、教育学部周辺に約 5,800 人が集結した。</p>
15:00	<p>史料編纂所前および赤門付近に一般学生約 1,000 人が封鎖反対、外人部隊導入反対の集会を行なう。</p>
16:35	<p>大講堂前から革マル約 1,400 人、社学同約 700 人その他約 800 人が「封鎖賛成、民青粉碎」を叫びデモし、正門—史料編纂所—赤門—都電通り—正門—大講堂前のコースで行進した。また社青同系学生約 1,000 人がこの反対コースでデモ行進した。そのさい史料編纂所および赤門付近で封鎖反対を叫んでいた一般学生 3 人がデモ隊の角材で負傷し、1 人は救急車で入院 2 人は病院へ運ばれた。</p>
17:10-17:30	<p>正門から中大に集結していた中核派学生約 900 人革マル系学生約 100 人、日大共斗会議学生約 2,000 人が入構し、大講堂前広場に集結した。</p>

17:40	教育学部付近に集結していた民青系学生の内約5,000人(黄ヘル着用約800人)が医学部中央館一病院通りをデモし、午後6時30分頃再び教育学部附近に戻り、「11・22東大民主化、文部省団交実現全国学生総決起集会」を開く。集会の周辺は武装した行動隊が警戒を行っていた。
18:00	大講堂前広場の反民青系学生は約6,900人(革マル系約1,500人、社青同系約1,000人、中核派約900人、日大共斗会議約2,000人、社学同統一派約700人、社学同ML派約200人、4トロ約150人、その他約450人)となり、「11・22東大、日大斗争勝利全国総決起集会」を開き氣勢をあげた。
18:00	総合図書館都電通り側および三四郎池側の2ヶ所に教官および法学部封鎖阻止実行委、工学部有志連合、全学有志連合、教養学部クラス連合、医学部有志等の一般学生、林学科助手会約2,000人が2手に分れて「暴力反対」を叫び道路に坐り込み両派の通路を遮断した。
20:10	大講堂前広場の反民青系学生は集会を終り、約3,500人が全員ヘルメット着用、角材、鉄パイプ等で武装して学内デモに移り、「封鎖賛成」「民青粉碎」を叫び総合図書館付近に押しよせた。これに対し教官および有志一般学生はスクラムを組み「暴力反対」「帰れ、帰れ」等のシプレヒコールを浴せた。デモ隊は一度は強行突破をはかったが暴力反対の声にUターンして大講堂前広場に戻った。
20:30	反民青系学生約1,500人がデモに移り大講堂前一病院一竜岡門(出構)一本郷3丁目一都電通り一正門(入構)一大講堂前のコースで行進した。
20:35	民青系学生は教育学部から防石楯、角材等を持ち出して武装を増強し、また赤門の大門を閉鎖した。
20:50	社青同系学生約600人が病院南研究棟前に集結したが、午後9時医学部本館講堂に入った。
21:15	大講堂前広場の反民青系学生の集会は終了し、各派ごとに総括集会を開く。
21:30	中核派学生約300人が正門から出構、他の各派学生も午後10時頃から逐次解散し正門から出構した。
22:30	社青同系学生約300人が医学部本館講堂に泊り込む。
23:30	大講堂前広場に最後まで残り、集会を行っていた革マル系学生が解散、正門から出構した。
23:55	総合図書館付近の一般学生は解散した。

11月23日(土)	1:00頃	教育学部周辺に集結中の民青系学生約5,800人のうち約4,000人が逐次解散した。
	1:30	医学部中央館前に社学同系学生(赤ヘル着用)約400人が集合し、病院外科研究棟に入り泊り込む。
	3:15	民青系学生約200人が赤門から出構した。なお、1,200人が武装し教育学部付近の警戒に当る。大講堂前は三派系学生約100人が同様警戒を行なう。

3:50	民青系学生約 500 人が赤門を出構した。
4:20	民青系学生約 600 人が理学部 1 号館に泊り込み。 教育学部には約 500 人が泊り込んだ模様。
7:50	大講堂から革マル、社会学同、社青同の学生約 100 人が出て赤門から出構した。
8:30	理学部 1 号館に泊り込みを行っていた民青系学生約 70 人、同館前で集会の後デモし、第 2 丁目食堂前—御下グランド売店—浜尾銅像—総合図書館—社研—教育学部のコースで行進した。なお同デモ隊が図書館側を通過中、同館屋上から占拠中の共斗会議派学生が牛乳ピンの様なものを投げたため、民青系学生 2 人～3 人が負傷し、日本女子医大病院に入院した模様で午後 10 時 40 分頃教育学部付近で法政大生が献血募集を行なった。
9:20	病院外科研究棟前に社会学同系学生（赤ヘル着用）約 150 人が集合 医学部中央館に入る
9:30	理学部 1 号館から民青系学生約 300 人が学内デモを行ない教育学部に向った。
9:30	教育学部前に約 1,000 人（殆んど民青系他大学生、東職約 30 人）が集結している。
9:30	医学部中央館前に社会学同系学生（赤ヘル着用）約 100 人が坐り込み警戒している。
12:05	医学部中央館前に社会学同系学生（赤ヘル着用）約 400 人が集合、大講堂に向いデモし、その後御殿下グランドで丸太、角材、パイプ等を用い軍事的訓練を行なったが、午後 1 時 30 分頃医学部中央館に戻る。
13:00	工学部講堂において同学部予備折衝が開かれた。
13:30	法学部封鎖阻止実行委、理学部有志等約 60 人が正門内側に坐り込み集会を行なう。
13:35	民青系学生約 1,000 人が学内デモを行ない教育学部—正門—図書館—法学部研究室—図書館—教育学部のコースで行進し、同学部前で午後 2 時 7 分解散した。
14:10	医学部中央館前で社会学同系学生（赤ヘル着用）約 200 人が集会を行なう。
14:20	医学部本館から社青同系学生（青ヘル着用）約 600 人が出て武装し、デモを開始医学部中央館から病院前に向い、病院前で突撃訓練を行なった。その後学内デモした。
14:45	上記デモ隊は教育学部に向ったが、同学部前の民青系学生約 1,000 人が全員ヘルメット、角材等で武装したため引き返し、病院—工学部 8 号館—法文テレード—図書館前—大講堂前のコースで行進し、午後 3 時 35 分解散し、大講堂に入る
14:45	正門内側に坐り込みを続けていた封鎖反対派の有志学生はデモに移り、銀杏並木を行進したが、午後 3 時 10 分頃正門前で解散した。
16:00	社会学同系学生（赤ヘル着用）約 20 人竜岡門から出構、続いて午後 4 時 20 分同 40 人が出構それぞれ帰途につく。
16:47	工学部講堂における予備折衝終了

	17:25	社会学系学生約 35 人竜岡門から出構した。
	17:30	社青同系学生約 300 人が大講堂から出てデモし、病院方面へ向ったが、その後引き返し、弥生門から出構、池の端門を廻り上野方面へ
	17:50-19:15	社会学系学生約 390 人竜岡門から出構、また民青系学生約 200 人も同門から出構した。
	19:20	民青系学生約 50 人赤門から出構した。
		(その他) 再審査委員会は本日をもって解散した。

11 月 24 日 (日)	1:30	民青系学生約 150 人が教育学部前からデモし、総合図書館を一週し教育学部に戻る。
	9:10	理学部 1 号館に泊り込みの民青系学生約 100 人が同館から出て整列し、教育学部前までデモ、同学部前で討論を行なう。
	12:00	教育学部には民青系学生約 600 人が待機している模様。
	14:30	民青系学生約 430 人が赤門を出構し、本郷 3 丁目方面に向う。
	16:45	民青系学生約 50 人が経済学部西側に坐り込みを行ない、また教育学部玄関前約 150 人が討論集会を行なう。
	18:15	民青系学生約 400 人が赤門から再び入構し、教育学部玄関前で集会、成田空港設置反対デモ帰りの革マル系学生の行動を警戒している。
	19:00	民青系学生約 400 人が図書館を一周デモした。
	20:30	京成電鉄バス 2 台に分乗した他大学 (旗 6 本、内 1 本は水産大) 約 100 人が正門外に到着、入構後学内をデモし大講堂前で民青粉砕を叫び集会を行なう。
	21:15	竜岡門から社青同系学生 (青ヘル着用) 約 40 人が入構し、大講堂前の集会に合流した。
	21:30	上記学生集会を終り、正門前までデモし、農学部方面と本郷 3 丁目方面に分れ帰途につく。
	21:50	教育学部前の民青系学生は約 1,000 人に増え、学内デモに移り、教育学部前—図書館—大講堂—病院—医学部中央館のコースで行進し、教育学部に戻る。
	22:00-22:20	社青同系学生約 40 人正門から入構大講堂に入る。
	22:30	社青同系学生約 22 人池の端門から入構大講堂に入る。
	23:00-23:50	教育学部の民青系学生 (都内大学) 約 350 人記帰途につく。

11 月 25 日 (月)	0:00	民青系学生約 250 人 (黄ヘル着用) が角材を携行し教育学部付近を警戒する。同学部内には約 400 人の学生が待機している模様。
	1:00	上記学生約 250 人が学内デモを行ない、医学部本館—病院—理学部 1 号館のコースで行進し、同 1 号館に入る。
	2:00	教育学部前には約 50 人が警戒にあたる。

7:30	理学部1号館から民青系学生約250人が出て工学部も6号館一正門一教育学部前のコースでデモした。教育学部からは約350人が出て合流し集会を行なったが、その後約100人が赤門から出構した。
13:30	法学部25番教室において寺沢一(法)江村愼(経)両教授および佐藤誠三郎助教授と統一代表団準備会との全学集会の第2回公開予備折衝が開かれた。会場には学生、教職員、報道関係者約600人が入場した。(内容別紙)
17:00	大学側交渉委員は折衝打ち切りを宣し退場した。
17:10	交渉委員再入場し、折衝が再開された。
18:30	全学集会の予備折衝は終了した。
19:40	教育学部において民青系他大学生の送別パーティーが開かれていた。
20:30	上記学生の中、京大、阪大、神戸大生約50人が貸切りバスで帰途についた。
20:40	学生2人が赤ヘル20ヶをもち竜岡門から出構した。
21:10	教育学部前で野外映画会が開かれ約100人が見物していた。
	<p>(その他)</p> <p>本25日一般学生の中に「全学団体連絡会議」が結成された。</p> <p>1. 統一スローガン</p> <p>①全学バリケード封鎖反対</p> <p>②大衆団交早期実現</p> <p>③暴力衝突反対</p> <p>④機動隊導入、出動反対</p> <p>⑤文部省の介入反対</p> <p>2. 参加団体 (11)</p> <p>法封鎖阻止実行委 クラス連合(養)</p> <p>工新和会有志 工院協有志</p> <p>理学部有志(21人) 宇宙航研懇親会有志</p> <p>医M1、M4有志 法留年生会議有志</p> <p>教育系院生有志 教養学部基礎科学科</p> <p>3. 本日午前零時頃法文1号館脇を通りかかった東大新聞編集部員4人および営業部員1人がヘルメット、角材、鉄棒で武装した共斗会議派学生10数人にとりかこまれ検問された。共斗会議派学生は5人を大講堂内に連行し、「東大新聞と民青系組織等について」尋問、午前2時すぎ編集部員1人を、その後同8時頃さらに1人を釈放したが、2人の編集部員にしては同9時すぎまで尋問がつづけられた。一方午前2時頃編集部員の1人である【個人姓】記者は別に3階に連行されたが、黙秘をつづけたためさらに1階に連行され8・9人の学生に暴行を加えられた。その後連絡をうけた東大新聞編集部で大講堂に赴き2回にわたり抗議したため、共斗会議は、午前11時すぎ全員を釈放した(東大新聞号外所載)</p>

統一代表団準備会との第2回予備折衝の状況

学生側は処分問題、機動隊導入問題、大学の管理運営の民主化の3点を全学集会の議題として取り上げるべきだと要求したが、大学側は①具体的な議題の内容は正式に議長団が選出されてから決めるべきだ。②大学側でまた意見が完全にまとまっていない段階で予備折衝を繰り返しても意味がない。③全学集会にのぞむ大学側の考え方は近く公表すると述べた。

学生側はさらに大学側の態度は全学共斗会議が要求している7項目に重点をおきすぎる、紛争の根本問題である大学の管理運営、機構の改革についてはあいまいであると追及したが、交渉は平行線をたどり結局、双方で下記確認書を取り交わし、また学生側は決議書を大学側に手交した。

1. 確認書

全学集会（「全学大衆団交」）についての大学当局の基本的見解がまとめ次第直ちに統一代表団準備会と公開予備折衝を行なう。

但し、日時、場所については全学集会交渉委員会と統一代表団準備会との折衝で決定する。

2. 決議書

- (1) 近日中に行なわれるという大学当局との全学集会（「大衆団交」）の態度表明は次回の統一代表団準備会との公開予備折衝の場で行え。
- (2) 11月22日付け毎日新聞にのった総長代行の誤話を撤回し、11月19日に統一代表団準備会と取り交わした確認事項を厳守することを約束せよ。
- (3) 統一代表団準備会との公開予備折衝に総長代行が出席すること。
- (4) 以上の回答明26日午後1時まで統一代表団準備会に文書で回答を明かにせよ。

11月26日(火)	10:00-14:20	学部長会議開催（法）
	14:30	経済学部第1教室において同学部学生大会が開かれ、学生約360人が参加した。 大会では、全学封鎖に反対する一般学生有志提案が賛成223、反対84、保留32で可決された。つづいて有志6人の①8・10告示撤回②7項目要求支持③スト実行委書記局を再構成する④これらに基づいて全学大衆団交の経済学部代表選出を内容とした提案が賛成185、反対127、保留42で可決された。 この結果罷免されたスト実行委書記局員11人が代って提案者の6人の有志学生を仮執行部として選出、残る5人は29日までに選ぶことを決め午後9時50分大会を終了した。

11月27日(水)	9:20	大講堂に泊り込んでいた、法政・和光大等の学生（白・緑のヘル着用）約50人が大講堂前で集会の後正門から出構した。
	13:30	医学部共斗会議の学生が医学部中央館2階の図書館事務室にきて同事務室および書庫入口等の模様を調べた。
	14:00	農学部2号館第1教室において同学部学生大会が開かれ約190人が参加した。 大会では討論の後、第1次採決において農芸化学有志提案、農有志提案がそれぞれ可決保留され、自治会正・副委員長（行動委）提案・農スト実提案が否決された。

		つづいて第2次採決においては①農有志提案（全学大衆団交の農代表3人の選出）を賛成99、反対71、保留19で可決、②農業生物4年11人の提案（共斗会議と訣別し、学生大会決定を守り行動しよう）を賛成90、反対66、保留31で可決保留③農スト実提案を否決した。この後全学集会代表3人を選出（一般学生2人、民青系学生11人）した。 第3次採決において水産4年有志提案（農スト実執行部5人を罷免し、新たに選ばれた代表3人が農スト実執行部をかねる）を賛成84、反対24、保留9で可決し、午後7時大会を終了した。
14:00		理学部2号館講堂において同学部学生大会が開かれ、約240人が参加した。 大会では「全学大衆団交の代表3人を選出する」との理学部有志提案を賛成130、反対99、保11で可決し、その後副代表2人を選出した。（正代表1人は後日再度投票を行なう）また①大学側の提案集会は認めない②図書館封鎖糾弾全学共斗会議は自己批判し、封鎖を解除せよとの決議を行ない28日午前零時30分大会を終了した。
16:00		加藤総長代表の学生に対する提案集会への呼びかけを学内各所に掲示した。
17:00		医学部中央館前に下記立看板が掲出された。 { 全学バリケード封鎖から安保粉碎へ 欺瞞的 ^{マカ} 全学集会、近代化路線粉碎 医学部共斗会議

11月28日(木)	8:30	医学部中央館前に下記立看板が掲出された。 { 欺瞞的提案する会粉碎へ 医学部完全封鎖から全学バリケード封鎖へ 医学部共斗会議
	8:30	下記ビラが各門で配布された。 { 11.28 提案集会抗議、緊急集会 12時30分 銀杏並木 統一代表団準備会
	10:00-12:30	学部長会議開催（生研）
	12:30	上記会場へ東職10人（主として生研等職員）が押しかけた。このため午後1時30分から約10分加藤総長代行為廊下で会見した。
	12:30	銀杏並木 ^{アケボノ} アケボノ付近において統一代表団準備会主催の“提案集会抗議、緊急集会”が開かれ、学生、大学院生、東職等約130人が参加した。同集会では法学部緑会、東院協、理学部、東職の各代表等から提案集会開催反対が述べられ午後2時20分集会を終り、約10分学内デモを行ない解散した。
	13:40-17:30	評議会開催（生研）

11月29日(金)	8:30	赤門に下記立看板が掲出された。 { 11.27 告示（注提案集会呼びかけ）反対全学総決起集会 11月29日 11時 図書館前 民主化行動委
-----------	------	--

8:30	理学部1号館前に下記立看板が掲出された。 { 欺瞞的提案集会粉碎、新執行部弾劾集会 11月29日 12時30分 図書館前 理スト実行委
8:30	大講堂に下記立看板が掲出された。 { 11.30 全学総決起集会 医学部本館小講堂 P.M 6:00~9:00 実行委 医スト実委員長 児玉和夫 工自治会々 石井重信 々スト実々 八十島義博 理 々 々 福武敏夫 東C 々 々 野村博 法スト実書記局
10:30	共斗会議派学生約80人(赤、白、銀、青等のヘル着用)が学内デモを行なった後、総合図書館玄関前に坐り込む。
11:00	上記学生約120~130人となる。
11:55	上記学生約150人となり、法学部研究室周辺をデモ、また工学部学生約80人も青ヘル着用の5人を先頭に工学部、大講堂付近をデモし、双方が合流総合図書館玄関の階段に坐り込み「欺瞞的収拾反対」のシュプレヒコールを行なう。
12:20	民青系の理学部大学院生約20人が法学部研究室の図書館側入口付近に集合、また民青系の宣伝カーも銀杏並木で「提案集会反対」の放送を行なう。
12:30	総合図書館周辺に各学部、研究所の教官約500人が集合した。
12:40	民青系学生の集団は約100人位となる。また一般学生約200人位が総合図書館広場に集まる。
13:12	加藤総長代行は都電通り側藤棚下に集合した教官約50人の前に現われた。田村教養学部がマイクを持ち立ち上り「ただ今から提案集会を開きます。司会は私がやります。諸君静粛にきいて下さい」と述べ、加藤総長代行が発言しようとした。このとき総合図書館玄関の階段に陣取っていた共斗会議派の学生約100人がスクラムを組みデモし「一方的提案集会反対」を叫び教官の中に突っ込んだ。 このため加藤総長代行は集会開催は不可能とみて正門脇に移動したが、追いつがった共斗会議派の学生約30人に取り囲まれ、そのまま引き立てられるように総合図書館玄関に向った。
13:20	加藤総長代行は同館玄関の階段に立つ、共斗会議派の学生は「大衆団交にせよ」と要求、同代行に対する弾劾集会にきりかえ、マイクを使いアジ演説を繰り返した。一方民青系学生も約150人位となり強力にマイクを使い痛烈に共斗会議を攻撃すると共に同代行を非難し、総合図書館前広場はマイクの騒音とヤジ、怒号が入り乱れ混乱状態を続けた。また全学団体連合連絡会議の学生約200人も、同広場都電通りよりの芝生で坐り込み「提案集会強行」に抗議しその後学内をデモし、大学革新会議の学生約50人も「一方的提案集会反対」を叫んだ。

13:50	<p>総合図書館玄関の階段上では共斗会議派のリーダーが「一方的集会を開いたことを自己批判せよ」と迫り、始めて加藤総長代行にマイクが渡された。</p> <p>同代行は「私は共斗会議も含めて、全学生諸君に話しかける義務があると思います」と述べると、学生はすぐマイクを取り上げ、再びアジ演説の後、ときたま同代行に発現させるという状態が続いた。</p>
14:00	<p>総合図書館前広場は約 2,550 人（共斗会議派学生およびそのシンパ約 700 人、民青系学生約 300 人、教官 500 人、全学団体連合連絡会議約 200 人、大学革新会議約 50 人、一般学生約 800 人）となる</p>
16:30	<p>加藤総長代行は「このような集会では大学側の見解を伝えることはできないので流会にしたい」と発言して法学部研究室へ引きあげた。</p>
16:35	<p>共斗会議派学生はデモに移り、民青系学生の集団に突入して小ざり合いを行なった後、大講堂前に引き上げ集会を開いた。</p>
17:15	<p>民青系学生は総合図書館玄関前に移動し、一般学生と共に「図書館封鎖を解除しよう」と呼びかけを行ない同館に突入の構えをみせた。</p>
17:30	<p>このため大講堂前で集会中の共斗会議派学生約 450 人がヘルメット姿で押しよせ、民青系学生、一般学生が「帰れ」と呼ぶ人波に突っ込み、同館玄関階段を占拠した。しかし、民青系学生等はこのとき応援の他大学生（都学連）も加わり、同玄関階段右側から厚い人波で突進、共斗会議派学生ともみ合い、前列の学生からヘルメット、角材等を奪ったりしたが、これに対して同館を封鎖し、警戒にあっていた共斗会議派の学生 4～5 人も同玄関のベランダからバケツで水を浴せる等抵抗した。</p>
18:10	<p>民青系学生、および一般学生約 800 人が同館正面玄関を完全に占拠した。共斗会議派学生は大講堂前に引きあげ、その後集会を開いた。</p> <p>（上記の乱斗で民青系学生 1 人が負傷し、教育学部に運ばれ、また共斗会議派の学生 1 人が負傷、担架で病院に運び込まれた模様）</p>
18:35	<p>民青系学生約 700 人は総合図書館、教育学部周辺をデモ行進したが、午後 6 時 50 分頃赤門内側に約 400 人が集結した。</p>
18:45	<p>共斗会議派学生約 460 人がデモに移り、大講堂前—文^ラアー^ド—図書館—三四郎池脇—大講堂前のコースで行進した。</p>
19:00	<p>共斗会議派学生大講堂前で集会、シュプレヒコールの後、各学部ごとに総括集会を開き解散した。そのさい行動隊は大講堂第 1 会議室へ集合せよと指示をうけた。</p>
19:20	<p>民青系学生は赤門内側で集会後約 100 人が赤門から出構、残り約 300 人はその後教育学部に入った。</p>
20:00 頃	<p>総長代行代理大内教授山上会議所において記者会見を行なう。</p>

		<p>(その他)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 本日午後6時頃民青系学生の応援にきた早大1法4年【個人氏名】が総合図書館前で共斗会議派学生に暴行をうけ、大講堂に連行されリンチをうけた。その後【同人】は東大石川外科に入院したが、そのさい付添ってきた学生は北大の【個人氏名】と名のりそのまま退散した。(民青系のビラによる) 2. 提案集会流会に関し、加藤総長代行談話を同夜学内各所に掲示した。
11月30日(土)	14:00	<p>法学部25番教室において同学部学生大会が開かれ、679人が参加した。</p> <p>大会では討論の後第1次・第2次採択において各提案を否決または可決保留し、第3次採択における①法3年有志提案(11.29提案集会糾弾、全学集会を含め当局の一方的集会拒否)賛成215、反対98、保留59で可決、②法有志提案(全学大衆団交を要求して、代表団5人を選出、これを次回学生大会で決める)賛成297、反対88、保留16で可決した。</p> <p>その後、第4次、第5次採決で2提案を否決、第6次採決のさいは出席数が定足数に充たず、議長職権で流会としたい旨発言があり、場内は混乱した。</p> <p>最後に第7次採決が行なわれ、川辺個人の緊急動議(12月4日(水)に学生大会を開く。なお、本日の学生大会において全学大衆団交代表団の選出を拒み、中途退場した。法斗争委、法学生懇談会、法連絡会を弾劾する)を賛成149、反対60、保留22で可決保留し、午後11時30分大会を終了した。</p>

(いのうえ いぶき 東京大学文書館)

(あきやま じゅんこ 東京大学文書館)